作成日: 2013年10月23日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 :亜硝酸カリウム

会社名 :純正化学株式会社
住所 :埼玉県越谷市大間野町1-6
担当部署 :品質保証部
電話 :048-986-6161
FAX :048-989-2787
E-mail :shiyaku-t@junsei.co.jp

製品番号(SDS NO) :10275jis-1

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

酸化性固体:区分 2

健康に対する有害性

生殖毒性:区分 2

生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響:追加区分

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 1

環境有害性

水生環境有害性(急性):区分 2

水生環境有害性(長期間):区分 2

(註)記載なきGHS分類区分:該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

注意喚起語:危険

危険有害性情報

火災助長のおそれ:酸化性物質
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
授乳中の子に害を及ぼすおそれ
臓器の障害
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

使用前に取扱い説明書を入手する。
取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざける。－禁煙。
衣類、可燃物などから遠ざける。
可燃物などと混合を回避するために予防策をとる。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
妊娠中/授乳期中は接触を避ける。
取扱い後は汚染個所をよく洗う。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。
環境への放出を避ける。

保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
指定された個人用保護具を使用する。

応急措置

漏出物を回収する。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受ける。
水はリスクを増大させる。火災に際しては指定された消火剤を使用する。

貯蔵

施錠して保管する。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

物理的及び化学的危険性

酸化性がある物質である。有機物、可燃性物質を発火させる恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :単一物質

成分名:亜硝酸カリウム
含有量(%):85.0<
化学式:KNO2
化審法番号:1-823
CAS No.:7758-09-0
ECNO:231-832-4

4. 応急措置

一般的な措置

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡する。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪いときは、医師に連絡する。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受ける。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。
気分が悪いときは、医師に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

防火服／防炎服／耐火服を着用する。
断熱手袋/保護眼鏡/保護面を着用する。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで充分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項
上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。
回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材
掃き集めて、容器に回収する。
二次災害の防止策
漏出物を回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
（取扱者のばく露防止）
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
指定された個人用保護具を使用する。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。－禁煙。
衣類、可燃物から遠ざける。
局所排気、全体換気
排気/換気設備を設ける。
注意事項
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
蒸気、ミスト、ガスを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
使用前に取扱説明書を入手する。
可燃物と混合を回避するために予防策をとる。
保護手袋/保護衣/保護面を着用する。
取扱中は飲食、喫煙してはならない。
配合禁忌等、安全な保管条件
適切な保管条件
容器を密閉する。
涼しいところに置き、日光から避ける。
換気の良い場所で保管する。
施錠して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標
管理濃度データなし
許容濃度データなし
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
呼吸用保護具
空気呼吸器（SCBA）を着用する。
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
衛生対策
妊娠中/授乳期中は接触を避ける。

取扱い後は汚染個所をよく洗う。
この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態
形状 :潮解性の様々な形状の固体
色 :白色～黄色
臭いデータなし
pHデータなし
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲
初留点/沸点データなし
融点/凝固点 :441℃
分解温度 :350℃
引火点データなし
自然発火温度データなし
爆発特性データなし
蒸気圧データなし
溶解度
水に対する溶解度 :281 g/100 ml (0 ℃)
n-オクタノール／水分配係数データなし

10. 安定性及び反応性

安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
530℃以上に加熱すると、爆発することがある。
危険有害反応可能性
強力な酸化剤であり、可燃性物質や還元性物質と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件
裸火、加熱
混蝕危険物質との接触。
混触危険物質
酸、還元性物質
可燃性物質
危険有害な分解生成物
窒素酸化物

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状
急性毒性データなし
局所効果データなし
感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
催奇形性データなし
発がん性データなし
生殖毒性区分2 成分データ
(亜硝酸カリウム) guinea pig : EHC, 1978
短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響
特定標的臓器毒性 単回ばく露区分1 成分データ
(亜硝酸カリウム) 血液
吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に毒性

(亜硝酸カリウム)

魚類(ニジマス)の96時間LC50 = 0.56-1.78 mg NO2-/L (亜硝酸カリウム換算濃度:1.036-3.293 mg/L)

(HSDB, 2007)

水溶解度

(亜硝酸カリウム)

281 g/100 ml (0 ℃) (ICSC, 2000)

残留性・分解性データなし

生体蓄積性データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

環境への放出を避ける。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 :1488

クラス :5.1

容器等級 :II

正式品名 :亜硝酸カリウム

指針番号 :140

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

劇物(令第2条):

亜硝酸カリウム(100%)(法令番号 2) 包装等級III

労働安全衛生法に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

第1類 酸化性固体 危険等級 II

船舶安全法

酸化性物質類 酸化性物質 分類5 区分5.1

航空法

酸化性物質類 酸化性物質 分類5 区分5.1

酸化性物質類・酸化性物質

海洋汚染物質_長期間有害性

亜硝酸カリウム、区分2

水質汚濁防止法

亜硝酸カリウム

法令番号 26: C 100mg-(40%のアンモニア性+亜硝酸性+硝酸性)窒素/liter

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (4th ed., 2011), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 17th edit. UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (reg.(EC) No 1272/2008)
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2013 TLVs and BEIs. (ACGIH)
http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html
JIS Z 7253 (2012年)
Supplier's data/information
化学物質総合情報提供システム（CHRIP）（NITE） http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html
事業者向けGHS分類ガイダンス（平成２５年度改訂版,経済産業省）

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。